

# 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動報告書2022



# INDEX

---

■ 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて	2
■ 名大カフェ “Science , and Me”	3
■ あいちサイエンスフェスティバル (ASF) 2022 サイエンストーク	5
■ ASF2022 その他、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業	7
■ 名古屋大学オープンレクチャー 2023	9
■ 名大研究フロントライン (研究紹介動画)	11
■ 名大研究フロントライン (ポッドキャスト&note)	13
■ 松坂屋小学校 キッズサイエンス@サカエ	15
■ 名古屋大学 × 松坂屋名古屋店 包括連携コラム「みらいトーク」	16
■ Tongali	17
■ 国際産学連携セミナー、シンポジウム等、展示会への出展実績	21

## 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部では、本学の研究成果発信と市民との対話を目的としたアウトリーチ活動を実施しています。本学では多くの部局・部署が公開講座や講演会等を実施していますが、学術研究・産学官連携推進本部では、部局を横断した研究の成果発信や、国内外や地域の諸機関、企業との連携に力を入れています。

昨年4月、本学に国際広報室が設置されました。学部や研究所等でも、専任の広報担当者を雇用する傾向が見られます。社会からの信頼と評価を得る上で、研究広報が果たす役割は大きく、その重要性への認識が高まっていると感じます。

その中で、学術研究・産学官連携推進本部やその前身組織で10年以上にわたり蓄積してきたアウトリーチ活動は、本学研究広報体制を支える大切な基盤のひとつと言えます。コロナ禍を通じて構築した「名大研究フロントライン」の枠組みも、学内広報担当者との連携コンテンツを発信するプラットフォームとして活用されるようになってきました。

また、学内広報担当者との連携の例として、昨年初めて開催した、あいちサイエンスフェスティバル「2022年ノーベル賞からみる最新研究講演会」の成功も挙げられます。11月に名古屋市科学館との共催で開催した本イベントは、10月のノーベル賞発表後に講師を依頼するという準備の難しい企画でしたが、ノーベル賞発表直後から学内広報担当者間で情報交換し、各受賞研究に縁が深い講師陣による講演会を実現しました。講師依頼や開催にあたっては、あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク機関との日頃からの連携関係にも支えられました。

政府は、今年3月13日からマスク着用を個人の判断に委ねるとの方針を出しました。春の訪れとともに、長かったコロナ禍の出口がようやく見えてきたようです。弊部署のアウトリーチ活動も、オンラインコンテンツの充実とともに、コロナ禍以前のように多くの市民の方々と直接交流する機会を増やしていくことになるでしょう。

今後も研究成果の発信と社会対話を通じて、学術研究の発展と産学官連携推進に取り組んでいきたいと思っております。

2023年3月



名古屋大学副総長／  
学術研究・産学官連携推進本部長  
佐宗章弘

# 名大カフェ “Science, and Me”

## SCIENCE, AND SM<sub>E</sub>



### 第 86 回「ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡で覗く銀河宇宙の黎明」

2022年4月27日(水) 19:00～20:00

ゲスト：柏野 大地 (名古屋大学高等研究院／大学院理学研究科 YLC 特任助教)

世界が注目するジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡と、銀河宇宙の黎明期についての研究を紹介。トークにはクイズが散りばめられ、多くの参加者が積極的に参加しました。



### 第 87 回「1ミリの虫に問う 仕組みられた老化と死のシナリオ」

2022年6月23日(木) 19:00～20:00

ゲスト：野間 健太郎 (名古屋大学大学院理学研究科 准教授)

線虫を用いた研究から、新たに分かりつつある老化と死のメカニズムについて解説。ある遺伝子を壊した線虫が長生きする様子のライブ観察では、チャットを通して参加者の“気づき”が飛び交いました。



### 第 88 回「老いるオイルと老いないオイル」

2022年9月8日(木) 19:00～20:00

ゲスト：伊藤バディジャ綾香 (名古屋大学環境医学研究所／高等研究院 講師)

脂質といっても種類はさまざま。質を考えながらバランス良く摂取することで健康効果が期待できることを紹介しました。魚の上手な摂取法など、実践的な内容について多くの質問が寄せられました。



名大期待の若手研究者をゲストに、「研究」というフィールドから見える世界や感動、異分野とのコラボレーションへの期待などを、MC とのトーク形式で語ります。

主催：Common-S. サカエ大学（運営：松坂屋名古屋店）  
 協力：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部  
 方法：オンライン（Zoom ウェビナー）



### 第 89 回 ASF サイエンストーク「音速を超えた世界の主役「衝撃波」の科学」

2022 年 10 月 27 日（木）19:00 ～ 20:00

ゲスト：市原 大輔（名古屋大学大学院工学研究科 助教）

衝撃波の基本から応用まで、最前線の研究者と学生が画像や映像をふんだんに使って紹介。コンコルドの話や医療用注射器への応用などは参加者の関心が特に高く、Q&A も活発に行われました。



### 第 90 回「フランドルに花開いた美：ヤン・ファン・エイクが起こした芸術革命」

2022 年 12 月 14 日（水）19:00 ～ 20:00

ゲスト：杉山 美耶子（名古屋大学高等研究院／大学院人文学研究科 YLC 特任助教）

初期ネーデルラント美術の創始者のひとりヤン・ファン・エイクが生み出した美の世界を紹介。代表作を通し、油彩技法を駆使した写実的な細密表現について学びました。

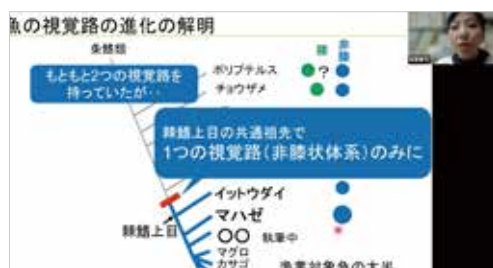


### 第 91 回「魚はものをどのように見ているのか－魚の視覚解明を目指して－」

2023 年 2 月 9 日（木）19:00 ～ 20:00

ゲスト：萩尾 華子（名古屋大学高等研究院／大学院生命農学研究科 YLC 特任助教）

漁師からの質問がきっかけで始めた魚の視覚研究で、魚が脳内視覚回路を独自に進化させたことを検証した成果を紹介。参加者からは、魚の視力や人との違いなど、多岐にわたる質問が寄せられました。





# あいちサイエンスフェスティバル 2022



市民と専門家との対話イベント



## 愛知学長懇話会 SDGs 企画委員会「気候危機の時代を生きる」

2022年10月1日(土) 12:30 ~ 13:30

ゲスト：杉山 範子 (名古屋大学大学院環境学研究科 特任准教授)

会場：三井住友銀行 SMBC パーク栄

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

地球温暖化による「気候危機」に対する「緩和」と「適応」対策、「世界気候エネルギー首長誓約」の広がり、様々な持続可能な地域づくりの事例などについて紹介し、地域からのシステム変換を呼びかけました。



## サイエンストーク&体験「巨大な量子をつくる」

2022年10月10日(月・祝) 14:00 ~ 15:00

ゲスト：清水 康弘 (名古屋大学大学院理学研究科 講師)

会場：名古屋大学 NIC Idea Stoa、他

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

量子の性質についての解説の後、超伝導を体験する実験や研究室ツアーをおこないました。小さいお子さんからおとなまで幅広い参加があり、それぞれの視点から量子の世界への理解を深めました。



## 「稀少難治性皮膚疾患の克服をめざして」

2022年10月17日(月) 19:00 ~ 20:00

ゲスト：秋山 真志 (名古屋大学大学院医学系研究科 教授) 他

方法：オンライン (Zoom ウェビナー)

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

指定難病に指定されている「先天性魚鱗癬」「表皮水疱症」「遺伝性血管性浮腫」の病態や治療研究の進展について解説しました。治療が実現化されることを強く期待させるお話でした。



## 「微細藻類がカーボンニュートラルな食べ物や燃料になるための課題とは」

2022年10月31日(月) 19:00 ~ 20:00

ゲスト：神田 英輝 (名古屋大学大学院工学研究科 助教)

方法：オンライン (Zoom ウェビナー)

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

バイオ燃料として注目される微細藻類は、水分蒸発時のエネルギー収支が実用化の壁となっていることを解説し、問題を克服する画期的溶媒について研究の進展を紹介しました。

課題：微細藻類は水の中で生きている

消費する石油を植物由来でえた場合に必要になる耕作地の面積

	世界の全ての耕作地の何%が必要か?
コシ	1430 %
ファ	130 %
藻類	1.8~4.2 %

藻類は、光合成能力が非常に高い。2削減に非常に効果的。

1分画をしても水分が70~90%もある。

あいちサイエンスフェスティバルでは、平日夜にサイエンストークを開催しています。はば広くサイエンスやものづくりの話題を取り上げた専門家との交流イベントです。  
対象：高校生～一般



## 図書館サイエンス夜話 第二夜「アインシュタインも納得しなかった量子論の不思議」

2022年11月2日（水）18:30～19:45

ゲスト：谷村 省吾（名古屋大学大学院情報学研究科 教授）

会場：名古屋市鶴舞中央図書館

主催：名古屋市鶴舞中央図書館

共催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

普段あまり馴染みのない量子論と今年のノーベル物理学賞について、動画や図を交えたわかりやすい解説と、沢山の物理学者が研究のリレーをつないだからこそ、現在の功績があることを熱く語りました。



## 親子でサイエンストーク「メダカの卵をみて、さわってみよう！」

2022年11月5日（土）14:00～15:00

ゲスト：田中 実（名古屋大学大学院理学研究科 教授）

会場：名古屋大学 NIC エントランスロビー

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

日本人にとって身近なメダカについて、オスとメスの見分け方や種類などについて解説を聞いた後、実際の卵を触ったり観察したりして、卵から赤ちゃんになるまでの変化を学びました。



## 「スポーツ戦術を AI のデータ解析で評価する」

2022年11月8日（火）19:00～20:00

ゲスト：藤井 慶輔（名古屋大学大学院情報学研究科 准教授）

方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

主催：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

AI を使ってチームスポーツの戦術プレーを評価したり、未来の動きを予測したりする情報科学研究について紹介しました。将来的にスポーツチームやメディア等での応用が期待されるお話でした。



# あいちサイエンスフェスティバル2022

## ■夏休みあいちサイエンスフェスティバル 2022

- ・会期：2022年7月21日（木）～8月31日（水）
- ・主催：名古屋大学 ・共催：愛知県
- ・協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

## ■あいちサイエンスフェスティバル 2022

- ・会期：2022年9月23日（金・祝）～11月20日（日）
- ・主催：名古屋大学 ・共催：愛知県、蒲郡市教育委員会
- ・協力：あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク



## 「集まれ！未来の科学者たち」

2022年10月23日（日）10:00～16:30

講師：サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）、  
中部大学科学物理実験会、名古屋大学博物館

会場：イオンモール Nagoya Noritake Garden セントラルコート

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

毎年恒例のイオンモールでのイベントです。中部大学の学生による「風船で作る簡単空気砲」工作、サイエンスワールドの実験ショー、名古屋大学博物館の出張展示を、たくさんの家族連れが楽しみました。



## 「2022年ノーベル賞からみる最新研究講演会」

2022年11月13日（日）14:00～16:00

講師：谷村 省吾（名古屋大学大学院情報学研究科 教授）、  
今井 啓雄（京都大学ヒト行動進化研究センター 教授）

会場：名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール

主催：名古屋市科学館、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

2022年のノーベル生理学・医学賞と物理学賞について、関連の深い講師が解説し、最新研究動向も紹介しました。受賞研究の新奇性や、その後の研究への影響について理解を深める充実した講演会となりました。

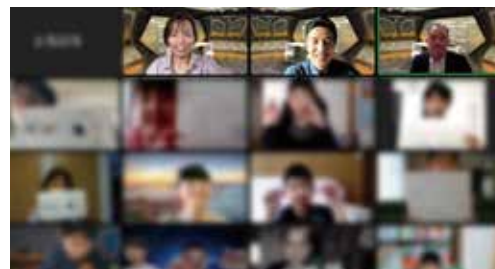


## 【オンライン】「科学捜査に挑戦！みて、ふれて、文字をこえて伝えよう」

2022年10月22日（土）10:00～11:30

講師：白武 勝裕（名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授）、  
財津 桂（近畿大学生物理工学部 教授）、高橋 一誠（名古屋大学  
トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任講師）他

科学捜査実験や新聞作成を通じ、実験の手順、結果の解釈、真相の伝え方について、それぞれの専門家がレクチャー。講師と参加者が双方向にコミュニケーションをとり、完成度の高い新聞を作成できました。



## 【オンライン】名古屋大学・名城大学 連携公開講座「空間のミライ：いごちのよさを考える」

2022年11月23日（水）13:30～15:30

講師：磯村 朋子（名古屋大学大学院情報学研究科 准教授）、  
谷田 真（名城大学理工学部建築学科 准教授）

主催：名城大社会連携センター、名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

いごちがいいって何だろう？をテーマに、建築学と認知科学の専門家と、高校生～70代以上の参加者が、自分と他者の距離や、状況を予測できるかどうかなど、自身の体験を交えた対話を通して考えました。





# あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2022

主催：豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

会場：豊橋市視聴覚教育センター・地下資源館

## 「惑星系がどのようにしてできたのか？」

日時：2022年11月3日（木・祝）11:00～12:00

講師：小林 浩（名古屋大学大学院理学研究科 助教）

恒星のまわりにある惑星系形成過程を調べるための最新のシミュレーション結果をもとに、太陽系の惑星はどのようにしてできたのかを話しました。



会場：豊橋市自然史博物館 講堂

## 「西之島火山－その謎に海と空から迫る－」

日時：2022年11月20日（日）14:30～16:00

講師：市原 寛（名古屋大学大学院環境学研究科 講師）

拡大を続ける西之島についてドローンを用いた観測や地球科学分野の最新の研究成果などを紹介しました。



## 「自然に見られる飛行のすごさ」

日時：2022年11月19日（土）13:30～14:30

講師：砂田 茂（名古屋大学大学院工学研究科 教授）

どうして飛行機は飛べるのかといった素朴な疑問から、航空機の翼と植物の種の形状には共通点があることを種の模型実験を通して体験しました。



## 「ウイルスを運ぶコウモリは「ワルもの」？」

日時：2022年11月26日（土）14:30～16:00

講師：本道 栄一（名古屋大学大学院生命農学研究科 教授）

コウモリが運ぶウイルスや生態について最新の研究を紹介しました。



## 「スポーツの動きに隠れた法則」

日時：2022年11月26日（土）13:30～14:30

講師：横山 慶子（名古屋大学総合保健体育科学センター 准教授）

スポーツの動作は体のつくりによって制限されてしまうことを体験したり、サッカーの上手下手には人の位置関係が関係していることなどを紹介しました。



## 「共に生きる虫と菌－木や森との関係－」

日時：2022年12月25日（日）14:30～16:00

講師：梶村 恒（名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授）

かびを栽培して食べる養菌性キクイムシの生態を中心に、昆虫と菌類の共生や穿孔性昆虫の多様性について紹介しました。



# 名古屋大学 オープンレクチャー 2023

名古屋大学の研究者が、主に高校生を対象に、少人数の講義スタイルで、研究をわかりやすくお話ししました。

対 象：高校生  
(高専生、中学生、大学院進学検討中の大学生も可)  
会 場：名古屋大学 東山キャンパス  
(理学南館 坂田・平田ホール／各講義室)

開催日：2023年3月21日(火・祝)  
13:30～13:50 名古屋大学紹介  
14:00～15:30 公開講義



## 名古屋大学紹介

主に高校生を対象に、本学の最先端研究を紹介する5つの講義を実施しました。まず坂田・平田ホールにて佐宗教授(学術研究・産学官連携推進本部長)の冒頭あいさつの後、大学の特長を説明し、各教室へ移動しました。



## 「植物の成長の謎にせまる気孔の科学のはなし」

講師：木下 俊則 (トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授)

植物の気孔開口メカニズムを解明して植物の成長や収量増加を実証した研究などを紹介しました。各参加者が葉の表皮をめくってプレパラートを作り気孔を観察する体験や研究室見学もあり、充実したレクチャーでした。



## 「パワー半導体が変わる新しい電気自動車のはなし」

講師：山本 真義（未来材料・システム研究所 教授）

名古屋大学が研究する GaN パワー半導体を心臓部に使うことで実現する電気自動車の未来や、電動航空機の可能性などについて語りました。実際の企業の実例も豊富に紹介し、参加者たちの興味を惹き立てました。



## 「宇宙の暗黒成分のはなし」

講師：宮武 広直（素粒子宇宙起源研究所 准教授 / T-GEEx フェロー）

宇宙の 95%を占める未知の暗黒物質や暗黒エネルギーの観測に挑戦する研究について紹介しました。研究室や設備も見学し、実際の研究室の雰囲気に触れることができた参加者たちは興味津々の様子でした。



## 「胎児の脳づくりを手助けする免疫細胞のはなし」

講師：服部 祐季（大学院医学系研究科 講師 / T-GEEx フェロー）

ヒトの初期発生や脳ができるしくみを解説し、特に脳内の免疫細胞「ミクログリア」の働きやメカニズムを解明する研究について紹介しました。最先端の生命科学研究に、参加者たちは大いに刺激を受けていました。



## 「量子で挑む極限性能コンピュータのはなし」

講師：藤巻 朗（大学院工学研究科 教授）、田中 雅光（大学院工学研究科 准教授）

量子の基本的な性質や、超伝導を使った量子を操るコンピュータの研究について紹介しました。ラボツアーでは、超伝導の実験を体験したり、量子を使った極限的な性能に迫るコンピュータの最前線の研究現場を見学しました。



# 名大研究フロントライン（研究紹介動画）

制作：名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

## Vol.17 標的はエピゲノム異常～次世代がん治療・診断薬の開発～

紹介した研究者：名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学教室 |  
近藤豊 教授、新城恵子 講師、鈴木美穂 助教、  
柏木克信 助教

1つの受精卵から多様な臓器や組織へ分化する過程で、DNA内の遺伝子情報を調節するエピゲノム。その異常が、がんの発生に関与しています。エピゲノム異常のメカニズムを解明し、新たな治療薬や診断法の開発に取り組む研究室を訪れました。  
(2022/4/11 公開)



## Vol.18 前触れは20年以上前から！健康診断で認知症予備軍を発見

紹介した研究者：名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科学研究室 |  
勝野雅央 教授、服部誠 医員

認知症を発症する20年以上前から、脳内では神経細胞の変化が始まっています。レビー小体型認知症の前触れを健康診断でいち早くキャッチし、予防につなげる研究を紹介しました。  
(2022/05/11 公開)



## Vol.19 名大N研、宇宙138億年の謎に挑むー Belle IIで新物理探索ー

紹介した研究者：飯嶋 徹（名古屋大学素粒子宇宙起源研究所 教授）、  
居波 賢二（名古屋大学大学院理学研究科 准教授）他  
協力：高橋 将太（高エネルギー加速器研究機構）

茨城県つくば市にある大型加速器 SuperKEKB（スーパーケックビー）を使った Belle II（ベル・ツー）実験を、世界26カ国1000人以上の研究者と共に推し進める「名大N研」を紹介しました。  
(2022/06/24 公開)



YouTube チャンネル「名大研究フロントライン」を開設し、名古屋大学で日々生み出される技術の種を、短い動画で世界に発信しています。さまざまな分野の基礎研究、応用研究、そして産学連携まで、見どころをギュギュッと詰めて、短い動画でご紹介。研究者たちが自ら語る熱い思いにご注目ください。



## Vol.20 乾燥不要！バイオ燃料生産のエネルギー収支問題を解決

紹介した研究者：神田 英輝（名古屋大学大学院工学研究科 助教）

微細藻類からのバイオ燃料生産は、回収～抽出工程で多くのエネルギーを必要とし、エネルギー収支がマイナスになるジレンマを抱えています。ブレイクスルー溶媒として液化 DME による抽出に取り組む研究を紹介しました。

（2022/09/22 公開）



## Vol.21 選手は AI より上手い!? スポーツ戦術の巧みさを情報科学で魅せる

紹介した研究者：藤井 慶輔（名古屋大学大学院情報学研究科 准教授）

IT を駆使したスポーツデータ分析が進んでいますが、選手の動きが時々刻々と変わるチームスポーツはモデル化が困難です。機械学習やシミュレーションも活用して、様々な人が便利に使える情報基盤技術の開発を目指す研究を紹介しました。

（2022/11/01 公開）



## Vol.22 免疫研究を食卓に届けています

紹介した研究者：伊藤 パディジャ 綾香（名古屋大学環境医学研究所 講師）、  
片岡 直也（名古屋大学大学院医学系研究科 特任講師）

免疫と脂質摂取の関係についての研究、その知見を人々に伝える活動、この両方に取り組む伊藤パディジャ綾香講師を紹介しました。

（2023/01/16 公開）



# 名大研究フロントライン (ポッドキャスト&note)



ポッドキャストは、名大の最近の研究の話題を、音声だけでお届けします。ナレーション、インタビュー、学生との対話など、さまざまなスタイルのコンテンツで「大学の今」を感じてください。

制作：学術研究・産学官連携推進本部、学生スタッフ

タイトル	紹介した研究者（名古屋大学）	配信日
#51 巧みな生存戦略、地下で情報交換!?	榊原 均（大学院生命農学研究科 教授）	2022/4/4
#52 ゲノムのコピー数の個人差がもたらす、多様な精神症状とは？	尾崎 紀夫（大学院医学系研究科 教授）	2022/4/11
#53 美味しいだけじゃない！サツマイモの強さの秘密	竹本 大吾（大学院生命農学研究科 准教授）、 田中 愛子（大学院生命農学研究科 博士研究員）	2022/4/18
#54 植物だって雨から身を守る！！植物の生き抜く術	多田 安臣（遺伝子実験施設 教授）	2022/4/25
#55 朝食論争最前線 一食べるべきか、抜くべきかー	小田 裕昭（大学院生命農学研究科 准教授）	2022/5/2
#56 人と共存の古代ワニ、絶滅は人が原因？	門脇 誠二（名古屋大学博物館 教授）	2022/5/10
#57 名古屋大学博物館の特別展「世界の発酵食をフィールドワークする」は必見です	横山 智（大学院環境学研究科 教授）	2022/5/18
#58 ホモ・サピエンスは巧みな狩りで生き延びた	内藤 裕一（名古屋大学博物館 研究員）	2022/5/23
#59 体内時計を進める歯車、噛み合う秘密に迫る！	近藤 孝男（大学院理学研究科 特別教授）、 伊藤 久美子（大学院理学研究科 特任助教）	2022/5/30
#60 Tiny Workers, Big Job   触媒研究を語る	Katinka Wondergem（大学院理学研究科 特任助教）	2022/6/6
#61 「入浴で脂肪が落ちる」皮膚時計が関与	小田 裕昭（大学院生命農学研究科 准教授）	2022/6/13
#62 環境中の「鉄」が、温暖化予測を変えるかも!?	松井 仁志（大学院環境学研究科 准教授）	2022/6/20
#63 線虫さん、ちょっとそういう遺伝子ありませんか？	野間 健太郎（大学院理学研究科 准教授）	2022/6/27
#64 “見る”ことのできない宇宙の始まり。重力波でその証拠をつかめ！	川村 静児（大学院理学研究科 教授）	2022/7/13
#65 巨大翼竜は空を飛べなかった!？力学計算から見えてきた新事実	後藤 佑介（大学院環境学研究科 特任助教）、 依田 憲（大学院環境学研究科 教授）	2022/7/19
#66 宇宙と地上から銀河の謎にアプローチ	Tom Bakx（大学院理学研究科 研究員）	2022/8/2
#67 なぜこんなところに？モンゴルの巨大火成岩地帯の謎	束田 和弘（名古屋大学博物館 准教授）	2022/8/8
#68 この世界は間違った愛の結末!？植物の繁殖干渉のはなし	西田 佐知子（名古屋大学博物館 准教授）	2022/8/22
#69 防災リュックに何いれる？	蛭川 理紗（減災連携研究センター 特任助教）	2022/9/9
#70 治療薬予測、AIで素早く！	加藤 竜司（大学院創薬科学研究科 准教授）	2022/9/12
#71 名古屋の女性は本好きだった？日本一の貸本屋「大惣」を徹底調査	Dylan McGee（大学院人文学研究科 准教授）	2022/9/21



note は、ポッドキャストで取り上げたテーマを読みものとして配信しています。ポッドキャストではお届けしきれなかった、一歩踏み込んだ内容も掲載しています。



ポッドキャスト  
(spotify)



note

\* 「素粒子宇宙円卓会議」は KMISCT とのコラボ企画

タイトル	紹介した研究者 (名古屋大学)	配信日
#72 留学の困りごと、何でも相談して！	Sunate Kampeeraparb (国際開発研究科 准教授)	2022/10/4
#73 川の健康のバロメーター「硝酸」。雨でなぜ増える？	角皆 潤 (大学院環境学研究科 教授)	2022/10/11
#74 見たことないような植物を、みんなの生活に届けたい	白武 勝裕 (大学院生命農学研究科 准教授)	2022/10/17
#75 名大生開発の組み立ておもちゃ「TEGUMI(テグミー)」がアツイ！	株式会社エドギフト (名大卒業生 & 在学生)	2022/10/26
#76 スポーツ戦術の巧みさを、情報科学で魅せる	藤井 慶輔 (大学院情報学研究科 准教授)	2022/11/4
#77 フグ毒って匂いがあるの？フグと毒の関係に、意外な発見	阿部 秀樹 (大学院生命農学研究科 准教授)	2022/11/14
#78 世論研究者、めざすはデータドリブン国際 PR	Matthew Linley (国際広報室 室長)	2022/11/21
#79 土壌の養分キープ力、カギは「落ち根」？ それとも…？	谷川 東子 (大学院生命農学研究科 准教授)	2022/12/26
<b>【素粒子宇宙円卓会議】</b>		
#1 ポッドキャスト新番組「素粒子宇宙円卓会議」、始めました	※KMISCT と名大研究フロントラインのコラボ企画	2022/4/28
#2 異なる視点から暗黒物質を探索	風間 慎吾 (KMI 准教授)、奥村 暁 (KMI 講師)	2022/6/17
#3 「本当の」重力理論を目指して	野尻 伸一 (大学院理学研究科 教授)	2022/8/10
#4 Space, cosmos, universe ! 高エネ物理で解き明かせ	中澤 和洋 (KMI 准教授)	2022/9/7
#5 初期宇宙の姿、研究者にはどのように“見える”のか？	市来 浄與 (KMI 准教授)	2022/9/27
#6 スパコンで創る量子色力学ワールド	金児 隆志 (KMI 特任講師)	2023/1/19
#7 素粒子の個性を明らかにせよ！ ようこそ、フレーバー物理学の世界へ	北原 鉄平 (KMI 特任助教)	2023/3/24
<b>【レポート】ミライ対話イベント「空間のミライ：いごこちの良さを考える」を開催しました</b>		
ジェンダーのこと、“みんなで考えよう”っていうけど、どうやって？	磯村 朋子 (大学院情報学研究科 准教授)、 谷田 真 (名城大学建築学部 准教授)	2023/1/25
<b>【研究話題とイベント情報】</b>		
ポッドキャストをリニューアルしました：ピラミッド / リチウムイオン電池 / 医薬品開発 / Mebinar(トークイベント) / オープンレクチャー	森島 邦博 (大学院理学研究科 准教授)、 高橋 康史 (大学院工学研究科 教授)、 増井 悠 (大学院創薬科学研究科 助教)、 布施 新一郎 (大学院創薬科学研究科 教授)	2023/3/15
「地域を次世代につなぐモビリティ共創拠点」、キックオフ！	森川 高行 (未来社会創造機構 教授)	2023/3/16
「セキュアでコピキタスな資源・エネルギー共創拠点」も、キックオフ！	松田 亮太郎 (大学院工学研究科 教授)	2023/3/23

<松坂屋小学校>

## キッズサイエンス@サカエ

主催：松坂屋名古屋店

協力：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部、  
あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク、  
Common-S. サカエ大学他

～未来の科学者をはぐくむために～

あいちサイエンス・コミュニ  
ケーション・ネットワークと  
Common-S. サカエ大学の  
コラボ企画



### 第16回 名大生と分子のチカラでアフリカを救おう！ 「親子カードゲーム&ラボツアー」

日時：2022年5月28日（土）10:30～12:00 他1回

講師：名古屋大学 ITbM - モレキュリアスのみなさん

会場：名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所

ITbM が開発したストライガ・カードを使ったゲームで、自然界の生物間の相互作用や分子とのかかわりを楽しみながら学びました。ゲームのあとはITbM ラボツアーで、開放的な研究施設をめぐるしました。



### 第17回 「遊んで考えよう！名古屋市科学館 みんなで作る新展示プロジェクト」

日時：2022年7月22日（金）13:00～16:00

講師：山田 厚輔（名古屋市科学館 学芸員）

会場：松坂屋名古屋店 本館 5階フリースペース

手汗で発電する仕掛けや、洗濯ばさみのばねを使ったバスケのシュートゲームなど、科学の面白さを体験で伝える展示を楽しみ、感想を書いてもらいました。お買い物ついでに立ち寄った家族連れがワイワイ楽しんでいました。



### 第18回 「名大生開発の組み立ておもちゃ TEGUMII（テグミー）で、サファリパークをつくらう」

日時：2022年9月17日（土）10:30～他4回

講師：株式会社エドギフト

会場：松坂屋名古屋店本館 5階キッズルーム他

5種のテグミーパーツで動物を作り、参加者全員でサファリパークを作りました。試行錯誤して“オリジナル”を作ることをモットーに、開発者の講師がサポートを行い、作る楽しさと成功体験を提供する場となりました。



### 第19回 「クリスマスドームを作ろう！」

日時：2022年11月19日（土）10:30～11:15 他2回

講師：サイエンスワールド（岐阜県先端科学技術体験センター）

会場：松坂屋名古屋店本館 5階キッズルーム

ガラス瓶にフィギュアと消臭ビーズを詰めて、かわいいクリスマスドームを作りました。簡単な実験を通して消臭ビーズの性質についても知ることができました。



### 第20回 「大学生と作って遊ぼう！ぬけないヘビと もどってくる車」

日時：2023年1月28日（土）13:00～16:00

講師：中部大学科学物理実験会のみなさん

会場：松坂屋名古屋店本館 5階フリースペース

使い古しの電池やCD、プラカップなどを材料に、ゴムのチカラで戻ってくる車を工作しました。沖縄の「指ハブ」も体験し、買い物に訪れた家族と大学生たちが会話しながら楽しい時間を過ごしました。



### 第21回 「パタパタはばたく鳥をつくらう」

日時：2023年3月18日（土）10:30～11:15 他2回

講師：田村 香里、稲垣 玲弥（三重県総合博物館 学芸員）

会場：S.Core

紙工作で、パタパタはばく鳥の模型をつくりました。大きな翼の標本やフリーズドライされた全身標本なども観察し、いろんな場所に住んでいる鳥の体や飛び方の違いなども学びました。





# 名古屋大学 × 松坂屋名古屋店 包括連携コラム 「みらいトーク」



## 第5回「コンピューター技術で、世界はどこまで便利になるの？」

回答者：藤巻 朗（大学院工学研究科 教授）、山下 太郎（大学院工学研究科 准教授 ※取材当時）、田中 雅光（大学院工学研究科 准教授）

(2022.06.17 公開)



## 特別編「発酵や免疫のパワーを知って 食べる楽しさを体験しよう！」

回答者：伊藤 パディジャ 綾香（環境医学研究所 講師）

(2022.07.15 公開)



## 第6回「未来ではきれいなものを 食べなくていい？」

回答者：伊藤 パディジャ 綾香（環境医学研究所 講師）

(2022.09.05 公開)



## 第7回「未来では、子どもでも簡単に 空を飛べるようになる？」

回答者：砂田 茂（大学院工学研究科 教授）

(2022.10.28 公開)



## 第8回「ヒトの能力は進化し続けて、未来ではもっと速く走れるようになる？」

回答者：秋間 広（総合保健体育科学センター 教授）

(2022.12.23 公開)



## 第9回「食べると魔法が使えるような野菜は作れる？」

回答者：白武 勝裕（大学院生命農学研究科 准教授）

(2023.02.20 公開)



# Tongali

Tongali は、学部生・大学院生・ポストドクター・教職員を対象とするアントレプレナーシップ教育です。メンタリング、活動拠点の提供、活動資金の援助、起業に関する情報やノウハウを得るためのイベントの開催など多岐に亘り、いわゆる起業家教育のみならず、準備から起業後の事業展開までをシームレスにサポートします。

## 第 6 回 Tongali シンポジウム

日時：2022 年 4 月 16 日（土）13:00-17:00

会場：名古屋大学 坂田・平田ホール（会場参加／オンライン参加 選択可）

2022 年度初のイベントとして『Tongali シンポジウム』を開催しました。友達作り、課外活動、恋愛など、たくさんの“やりたいこと”のために、まずは自分と社会をつなげる方法を体験しました。起業に限らず、それぞれのフィールドで夢の実現に向けて挑戦するのに必要なイノベティブなマインドや姿勢を考える機会となりました。



## Tongali -Junior コンペティション

日時：2022 年 7 月 30 日（土）より 3 回開催

会場：名古屋大学教育学部附属中・高等学校（7/30、8/5、会場参加／オンライン参加 選択可）  
なごのキャンパス（8/11、会場参加／オンライン参加 選択可）

名古屋大学教育学部附属中・高等学校と Tongali が連携し、高校生に起業に関する興味と能力を高める機会を提供しました。コロナ禍で EC 市場の急成長に伴い、大きく変化している物流（陸運）をテーマに、地域の発展や人々の生活向上のために、起業家精神の果たす役割について考え、ビジネスプランを発表し、起業家精神を身につけました。

2022 年 7 月 30 日（土）13:00-17:00

Step 1：社会課題の発見と解決方法の着想

8 月 5 日（金）13:00-17:00

Step 2：仮説検証とビジネスプレゼンテーション

8 月 11 日（木・祝）13:00-17:00

Step 3：Tongali-Junior コンペティション





## 女性起業家育成ワークショップ

日時：2022年9月12日（月）より4回開催

会場：星が丘テラス（9/12・16）

名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス（2/8・13）

東海地区の女性の学生、大学院生、代表者が女性のチームを対象とするワークショップを開催しました。

### ワークショップⅠ アイデア創出体験

最先端の「流行」と、現代人の「感情」を捉え、まだ世の中のない新しい商品を企画しました。

2022年9月12日（月）、9月16日（金）15:00-18:30

### ワークショップⅡ 魅せる! ピッチの作り方

自身のビジネスアイデアをより効果的に伝える方法を学びました。

2023年2月8日（水）、2月13日（月）9:00-12:00



## 世界丸ごとアントレ研修 2022 ～デンマーク方式 in 多治見市～

日時：2022年9月27日（火）～9月29日（木）

場所：岐阜県多治見市

日本の地方の課題を、東海地区の学生と世界各国からの留学生、地域コミュニティの方と一緒に考え、デザイン思考の学びと体験を通じて課題解決に結び付くような新しいアイデアを生み出すことを目的とした研修を実施しました。現在も美濃焼、タイルの産地として知られ街自体がアートの街岐阜県多治見市で、資源が限られている伝統産業をどのように継続していくかという地域課題を例に、人々のニーズ、意見、行動を明らかにし、成功する製品やサービスの開発に応用するためのプロセスと手法を学びました。



Tongali



## アイデアピッチコンテスト 2022

日時：2022年11月12日（土）13:00-19:00

会場：なごのキャンパス 体育館

※ 審査員・登壇者は会場に参集、聴講者は会場参加／オンライン聴講を選択

自らが温めているアイデアや解決したい課題などを発表し、実現を目指すマインドの醸成を目的としたコンテストを開催しました。Tongali 賞（優秀賞）を獲得したチームは、アイデア実現のサポートを受け、確度の高い事業計画に仕上げることを目指します。

予選会（10/29 開催）を通過した 19 チームが参加し、6 名の有識者による審査の結果、4 チームに Tongali 賞を授与しました。また、15 チームに協賛企業 21 社からサポーター賞が贈られました。



## ビジネスプランコンテスト 2022

日時：2022年6月11日（土）13:00-18:30

会場：千種文化小劇場

※ 審査員・登壇者は会場に参集、聴講者は会場参加／オンライン聴講を選択

優れた技術やビジネスシーズ、アイデアを元とした起業プランを発表するコンテストを開催しました。Tongali 賞（優秀賞）を獲得したチームは、活動支援金および事業化支援プログラムを受け、出資およびアクセラレートプログラム等のオファー獲得を目指します。

予選会（5/28 開催）を通過した 13 チームが参加し、6 名の有識者による審査の結果、5 チームに Tongali 賞を授与しました。また、10 チームに協賛企業 11 社からサポーター賞が贈られました。





## Tongali スクール 2022

日時：2022年7月2日（土）より13回開催

会場：名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス（7/2・3、8/9・27、9/10・25、11/19・26、12/3・10・17）  
PRE-STATION Ai（8/22）、オンライン（8/18）

急速に変化する社会の中で、アイデアや技術を駆使し、新たな未来をデザインすることにチャレンジする人材を育成するためのアントレプレナーシップ教育を体系的に学ぶ場を提供しました。

### School I <SNS・インターネットの未来のアイデア創出ワークショップ>

伝統的な講義による方法で学ぶのではなく、レゴ® シリアスプレイ® 独特の技法と理論を基に、手と指、レゴ® ブロックを使って作品を創り、個々の内観（＝アイデアや価値観）を表出させ、作品を通して対話や質疑応答を繰り返しながら、多様な課題を自ら解決しました。

2022年

7月2日（土）13:00-17:00 ネット社会についての課題発見

7月3日（日）13:00-17:00 課題解決



### School II <0→1歩=起業力>

「STATION Ai Program for Students (STAPS)」の名称で STATION Ai と連携して実施しました。夏期休暇の時間を使って計6回、2カ月にわたって、STATION Ai が持つ起業ノウハウを吸収、起業までの道筋を共に考え、行動し、実践しました。

2022年

8月9日（火）13:00-18:30 キックオフ 事業開発講座 アイデア検討会

8月18日（木）13:00-18:30 MVP 検証講座 市場機会講座 アイデア検討会

8月22日（月）13:00-18:00 中間報告会

8月27日（土）10:00-18:00 1 Day 集中検討会

9月10日（土）10:00-18:00 1 Day 集中検討会

9月25日（日）13:00-18:30 最終ピッチ



### School III <新たな価値を創り出すデザイン思考を学ぶ>

ニーズのメカニズムを検証し、プロトタイプを作成した後にビジネスモデルを作り上げるところまでを目標に、アイデア創出のプロセスを通じて新たな価値を創り出すデザイン思考を学びました。

2022年

11月19日（土）13:00-17:00、11月26日（土）13:00-17:00、12月3日（土）13:00-17:00、

12月10日（土）13:00-17:00、12月17日（土）13:00-17:00



## 国際産学連携セミナー、シンポジウム等 展示会への出展実績

国際産学連携セミナー（会場 or 方法）	開催日	内容
NU Tech Roundtable 2023 Digital & Engineering AgTech (North Carolina Biotechnology Center : 米国)	2023年 1月26日(木)	NU Tech Technology Roundtable Series は、名古屋大学 (NU) とその米国技術移転事務所である Technology Partnership of Nagoya University, Inc. (NU Tech) が、RTP の名門大学と共同で行っている技術マーケティング活動。2010年に第1回目のラウンドテーブルが開催されました。ラウンドテーブル 2023 は13回目の開催で、COVID-19 パンデミック以来、初め対面で開催された。今回の Roundtable は、農業バイオサイエンス、エンジニアリング、データサイエンスが交差する分野である Digital & Engineering AgTech に焦点を当てた。
シンポジウム・セミナー等（会場 or 方法）	開催日	内容
名古屋大学発！先進的な取り組み事例×展望 vol.2 ～核酸医薬開発の新展開～ (オンライン)	2022年 7月13日(水)	メディカルイノベーション推進室の紹介、および3名の教員から新たなモダリティとしての非環状型人工核酸、RNA 創薬のための核酸分子の開発、リピート病に対するアレル選択的核酸治療について紹介した。参加者約300名。
カーボンニュートラル推進室記念シンポジウム (名古屋大学：愛知県 / オンライン)	9月6日(火)	東海国立大学機構におけるカーボンニュートラル推進体制の紹介、小林 傳司 RISTEX センター長による基調講演ならびに機構教員、学外関係者でのパネルディスカッション・情報交換会を実施した。
再生可能エネルギーの共同開発に係わる合同説明会 (三菱 UFJ 銀行名古屋本部ビル：愛知県 / オンライン)	9月15日(木)	三菱 UFJ 銀行主催 中部地区6大学合同技術説明会「都市固形廃棄物からの直接燃料電池発電・水素電解製造」名古屋大学環境学研究所都市環境学専攻 日比野高士教授
脱炭素社会創造セミナー (名古屋大学：愛知県 / オンライン)	2023年 1月20日(金)	山形大学カーボンニュートラル研究センター副代表 カロリン・イブトナー先生が「山形大学におけるカーボンニュートラル活動」の題で講演を行った。
名古屋大学発！先進的な取り組み事例×展望 vol.3 ～第3の生命鎖、糖鎖を解き明かす：糖鎖技術研究 セミナー～ (オンライン)	1月20日(金)	情報科学、構造生物学、創薬科学というそれぞれ異なる専門分野をもち、かつ今後のグライコサイエンスの発展に関連する新分野開拓や技術アプローチに携わる3人の研究者が未来創薬の観点から、今後台頭する創薬科学・情報科学について紹介した。参加者270名。
カーボンニュートラル推進室第2回シンポジウム (名古屋大学：愛知県 / オンライン)	3月10日(金)	東海国立大学機構の教員によるカーボンニュートラル実現のための新たな取り組みの紹介並びに産業界から見た大学への期待について講演を行った。情報交換会を実施した。
名古屋大学発、東海地区発メディカルスタートアップ ショーケース (GLOBAL LIFESCIENCE HUB:東京都 / オンライン)	3月16日(木)	STATION Ai および名古屋大学および東海地区発のスタートアップ6者による紹介を行った。

## 国際産学連携セミナー、シンポジウム等 展示会への出展実績

シンポジウム・セミナー等（会場 or 方法）	開催日	
COI-NEXT セキュアでユビキタスな資源・エネルギー 共創拠点 キックオフシンポジウム (名古屋大学：愛知県 / オンライン)	2023年 3月30日(木)	本拠点のビジョン・ターゲットや研究開発、取組紹介に加え、拠点参画機関による取組紹介を行った。また、" 変環 " を社会に普及させるために必要なことを本学教員並びに外部の有識者を招き議論を行った。
展示会イベント名（会場or方法）	開催日	内容
BioJapan2022 (パシフィコ横浜：神奈川県)	2022年 10月12日(水) ～10月14日(金)	医学系研究科2名，工学研究科2名の教員の研究についてポスター展示・プレゼンテーション，企業との面談を行った。
AUTM2023 (JW Marriott Austin：米国)	2023年 2月19日(日) ～2月22日(水)	米国のアカデミック技術交流会、AUTM2023に参加し、名大の技術移転、共同研究機会の探索などを目的として米国を中心とした企業、大学関係者との面談を行った。



## 名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 NIC 3F 311  
Tel:052-747-6527 Fax:052-788-6002 E-mail:outreach@aip.nagoya-u.ac.jp  
<https://www.aip.nagoya-u.ac.jp/>